

仙南地域で地域づくりに取り組む団体やイベントの実施について紹介します

令和2年10月20日発行

せんなんネットワーク

第124号

発行：みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部

会員活動紹介

地域の伝統を絶やさないために

金津七夕保存会（角田市）



藤尾自治センターで行われた写真展

少年団による竿灯行列（写真は過去の金津七夕の際のもの）

かなづたなばた
金津七夕とは、角田市藤尾の金津地区で毎年8月第1土曜日に行われている伝統的な七夕行事で約380年間続いています。小中学生の子どもたちが中心に参加し、豊作や虫除けを祈願する農耕儀礼であると同時に、子どもの自主性と成長を祈願する地域教育が兼ねられた行事です。金津七夕保存会は、大正以後に後援組織が作られて以来、組織名を変えながら現在へ継承されている歴史ある団体で、金津七夕行事を様々な面でサポートすることが主な活動です。ポスターの作成や案内板等標識の設置などは保存会が行い、運営主体である地元の少年団をバックアップします。

このほか、保存会では毎年地区の小学校で金津七夕に関する授業を行っており、金津地区や金津七夕の歴史を若い世代へ伝えることで保存に努めています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により金津七夕は中止となりましたが、8月12日～21日に藤尾自治センターにて写真展を開催し、多くの来場者の方にこれまで実施した金津七夕の写真を見ていただくことができました。

令和2年度第1回仙南圏域地域おこし協力隊交流会を開催



会場を提供いただいた嶋崎様からは、柴田町で古民家シェアスペースを開業するまでの経緯や運営を始めてからの地域との関わり方についてお話をいただきました

はじめに、会場の運営団体である「一般社団法人かかしの一本足 かえるのあぐら」の嶋崎代表理事から、地域の中での古民家を活用した様々な取組についてお話をいただき、参加した隊員も活動の参考となった様子でした。その後は参加隊員自身の取組内容の紹介や情報交換を行い、今まで関わりのなかった他市町の隊員とも交流を深められた様子でした。

交流会終了後の参加者アンケートでは、「協力隊同士の同じ想いを感じ、心強かった」「今後の活動に活かそう」などの声が聞かれ、好評でした。

■地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化などに悩む地方において、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。現在、仙南地域には1市5町に隊員が着任しています。（令和2年10月1日現在）

■古民家シェアスペース「柚子のあぜ道 雨乞のかえる」

古民家を改装して作られた施設で、シェアスペースの貸し出しや一棟貸しを行っており、古民家の暮らしを体感することができます。また、お昼にはここでしか味わえない古民家ラーメンもありますので、ぜひご賞味ください。

HPはこちら→

住所：柴田郡柴田町入間田字下台26 TEL 0224-87-8890



情報交換の時間では終始盛り上がっている様子でした



地域の情報

角田市地域おこし協力隊OBの舟山 直道さんが角田市で活動中



コワーキングスペースにて
SNSの編集作業をする舟山さん

令和元年6月末で角田市の地域おこし協力隊を卒業した舟山さんが、現在、株式会社 ヴィール veeellのスタッフとして、角田市にある宿泊施設「ゲストハウス ロクログ GUESTHOUSE 66」や、コワーキングスペース「ゴンボッパ Gomboppa」で施設の運営や観光情報メディア「ロクログ 東北ルート66」での情報発信などの活動をしています。

隊員時代は主な活動として、インスタグラム Instagramなどを通して地域の情報を発信しており、隊員の卒業後は角田市内で広報関係の活動に携わりたいと考えていたところ、角田駅前でゲストハウ

スや飲食店の運営を通じて、県南地域の観光スポットや地元の食材、生産者のストーリーについて情報発信をしている株式会社 veeell の事業が、自身のやりたいことにもつながると思い、スタッフになることを決めました。

舟山さんは今後の目標について「地域に定住した協力隊の卒業生として、一つのモデルケースになればと思っている。そのためにも、自分の活動の一つである情報発信を確実な収入源として基盤を整え生業とし、現在、各地で活動中の隊員へこういった道もあると示していきたい」と話していました。

■コワーキングスペース ゴンボッパ Gomboppa

角田駅から徒歩1分の場所にあり、2階のゲストハウスの宿泊利用者は無料で使用することができます。セカンドオフィスや出張拠点として人気の施設です。

住所：角田市角田泉町66 [HPはこちら→](#)
TEL：0224-61-0234



令和2年度みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部委員会を開催

令和2年7月29日に、宮城県大河原合同庁舎で開催し、令和元年度事業実績、収支決算報告及び令和2年度の事業計画等について協議を行いました。今年度事業計画では、支部交流会を新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、年度後半に開催することが承認されました。感染症対策を十分に実施した上で、地域づくりに携わる多くの方に参加していただけるよう企画していきます。

また、後半は参加者による情報交換を実施し、支部委員の皆さまからの所属団体についての活動内容の紹介や、各市町の地域づくりへの取組について紹介していただきました。



菊地支部長（NPO法人川崎町をいかにす会）からのあいさつ

助成金のお知らせ

地域づくり団体全国協議会に加入しており、一般財団法人地域活性化センターの賛助会員になられている場合、下記の助成金が利用できます（※注）。申請や相談は当事務局（みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部事務局）にお願いいたします。

■地域づくり団体活動支援事業助成金

地域づくり団体が行う自主的・主体的な地域づくりのために講師等を招聘して開催する研修会の事業や、内部体制等の強化のために、各分野の専門家を招聘して指導もしくは助言を受ける事業について、招聘する講師等に係る謝金及び旅費を各10万円、計15万円を限度に助成します。

■地域づくり団体クラウドファンディング活用支援事業助成金

地域づくり団体の活動資金調達を支援するため、クラウドファンディング活用に伴う費用の一部を助成します。助成対象事業は、自主的・主体的な地域づくりのためにクラウドファンディングを活用する事業とし、助成金の額は、目標金額の25%又は25万円のいずれか低い額を上限とします。

助成金の詳しい内容は[こちら](#)（全国地域づくり団体全国協議会HP）→



（※注）予算上限に達し次第募集は終了となりますので御注意ください。

活用をお考えの団体様につきましてはお早めに当事務局（みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部事務局）まで御相談ください。

お知らせ

事務局からのお知らせ

情報提供に御協力をお願いします

仙南支部では、地域づくりに関するイベントや参加者募集など、皆さまからいただいた情報を支部ホームページに随時掲載します。また、チラシ等も県大河原合同庁舎をはじめとする管内の公共・集客施設等に設置します。

PRしたい情報がありましたら、下記の宛先までお送りください。

皆さまからの情報提供をお待ちしています。

会員訪問を実施しています

仙南支部事務局では、会員の皆様の活動状況等についてお伺いするため、会員訪問を実施しています。事務局から連絡させていただきますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

本誌についての御意見や、当支部についての御意見・御要望等ありましたら、こちらまでお寄せください。（助成金についての申請・相談もこちらまで）

《みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部事務局》

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部 商工・振興第一班

〒989-1243 宮城県柴田郡大河原町字南 129-1

電話 0224-53-3199 FAX 0224-53-3076

e-mail oksinbk@pref.miyagi.lg.jp

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-e/tiikidukuriindex.html>



仙南郷土料理「おくすかけ」

次号は令和3年3月発行予定です